

いのち支える自殺対策推進センター
令和8年度自殺未遂者ケア研修運営業務一式
評価手順・総合評価基準表

いのち支える自殺対策推進センター令和8年度自殺未遂者ケア研修運営業務一式の入札に係る総合評価基準については以下のとおり。

評価項目	評価基準(視点)	配点
(1)価格	価格点の配分 40点×最低入札価格/入札価格	40
(2)運営	(2)① + (2)② + (2)③	60
合計	(1)価格+(2)運営	100
(2)①運営実施業務		30
(ア)チーフディレクター (実施責任者)	・研修運営の管理能力に加え、Slack や Zoom 等を用いた多職種(医療従事者・発注者)間での迅速かつ円滑なコミュニケーション管理能力を有しているか。	10
(イ)事務担当者および 当日の業務スタッフ	・Microsoft Office、Slack、Zoom 等のツールを習熟し、特に「ジャプリコ(e-learning)」の設定や受講ログ解析をマニュアルに基づき正確に遂行できる能力を有しているか。 ・医療従事者(講師・参加者)に対し、礼節を持った適切な対応ができる人員を配置しているか。	10
(ウ) 従事者のメンタル ケア体制	・自殺対策というセンシティブな内容を扱うスタッフに対し、適切な心理的負担の軽減策(デブリーフィング、定期面談、相談窓口の設置等)が具体的に計画されているか。	10
(2)② 組織としての遂行能力・実績		20
(ア) 研修・イベント運営 実績	・対面研修およびオンライン配信(特に 300 名規模以上の Zoom ミーティング)の確実な運営実績があるか。	10
(イ) IT サポートおよび セキュリティ	・ITリテラシーが必ずしも高くない参加者に対し、当日電話サポート等の丁寧なフォローアップ体制が構築されているか。 ・仕様書に定めるセキュリティ要件(暗号化、適切なデータ消去等)を確実に履行できる体制があるか。	10
(2)③ 制作・編集およびロジスティクス能力		10
(ア) 文書制作・校閲体制	・開催報告書(PowerPoint による 2in1 レイアウト等)や運営マニュアル等の、判読性が高く行政報告に適した文書制作能力および校閲体制を有しているか	5
(イ) ロジスティクス管理	・大量の配布資料(年間計 500~700 セット想定)の印刷・個別発送管理を、誤送なく確実に遂行できる管理体制(ダブルチェック体制等)を有しているか。	5